

## 公益活動報告書(市民活動実績報告書)(令和7年度)

(宛先)岡崎市長

令和8年4月30日

団体名 全日本竹水鉄砲合戦実行委員会

代表者 浅見志貴雄

構成員 8人(※令和8年4月1日時点の構成員数)

団体の目的:団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

本会は、古来より生活や遊びの中の様々な所で活用されてきた竹について、竹林管理が行き届かないことによる荒廃が里山全体に大きな影響をもたらしていることに対して、竹の有効利用に関する事業を行い、竹林の荒廃や竹の有効利用に係る問題の改善や解決を図り、竹水鉄砲合戦なるスポーツを推進することによる活力の向上と資源の有効活用の増進に寄与することと、併せて竹水鉄砲合戦を通じて環境、教育の活動及び農山漁村又は中山間地域の振興による世の中の発展を図ることを目的とする

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。  
なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

## ■1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどのような活動をしましたか。(公益活動に限る)

活動日 又は期間	場所	公益を受けた ものは?	受益者 (会員以外) 人数※1	活動内容
4月26・27日	日近の里	市民(参加者)	50人	竹水鉄砲合戦教室
5月10・11日	地球市民交流センター	市民(参加者)	250人	竹水鉄砲合戦教室
5月17・18日	地球市民交流センター	市民(参加者)	350人	竹水鉄砲合戦教室
5月24・25日	地球市民交流センター	市民(参加者)	320人	竹水鉄砲合戦教室
9月13日	広幡小学校	JA職員及び市民	50人	竹水鉄砲合戦教室
9月21日	常磐小学校	JA職員及び市民	50人	竹水鉄砲合戦教室

※1 公益を受けたものが「人」ではない、数が把握できない場合は記載がなくてもよい。&lt;ex.自然環境&gt;

## ■2 前項1に基づき、1年間の団体活動で岡崎市(広く市民社会一般)に何をもたらしましたか。

増殖した竹による環境破壊を改善するために環境保全活動を行うとともに、森林整備の必要性と竹の有効利用に関する環境学習事業を行うことで森林生態系の保全の大切さや手法を学ぶことで地域環境の改善を図ることができた。

## ■3 今年度の活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください(数字に○をつけてください)

高い ← ⑤ 4 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください。

この活動が素晴らしいと思うから。